

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(平成30年5月)

～現状判断は2か月ぶりに低下～

- 景気ウォッチャー調査・5月調査の近畿地域の結果は、現状判断[方向性]が2か月ぶりに低下したほか、先行き判断も2か月連続の低下となった。(なお平成28年10月調査より、内閣府方針に基づき各指数を原数値から季節調整値に変更)
- 足元の景気については、インバウンド市場の好調な動きは続いているものの、天候不順などの影響が一部で出た。また、下旬にかけて気温が上がりがきらなかったこともあり、3、4月の春物商材の販売増の反動減が目立つ形となった。ゴールデンウィーク期間中は概ね好調な動きがみられたものの、その後の客足の悪化などを指摘する声も少なくない。
- 一方、先行きについては、引き続きインバウンド市場の好調な動きが期待されているほか、今夏は猛暑になるとの予報から、夏物商材の販売増を期待する声も聞かれる。
- ただし、北朝鮮をはじめとする地政学リスクについては警戒感が強まっている。米朝首脳会談を控えて、先行き不透明感が強まる中、為替や株価、インバウンド市場への影響を含めて、幅広い懸念の声が聞かれる。

「気温、天候」関連のコメント(現状判断)

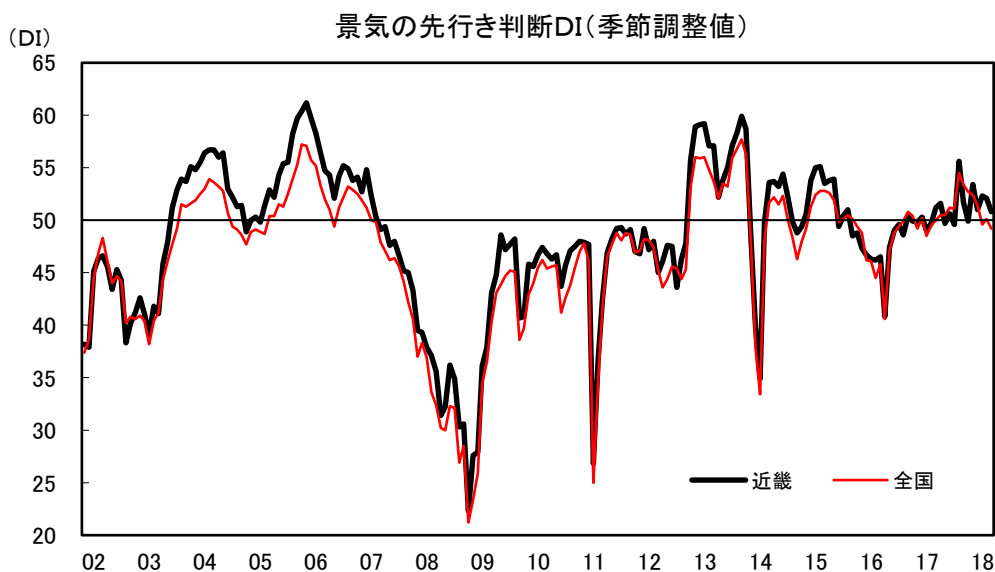
家計動向関連	な や や 良 く	コンビニ(店員)	・暑くなって来客数が増えており、飲料水やアイスがどんどん売れ出している。
		その他専門店[ドラッグストア](店員)	・天候条件のほか、チラシやクーポンの有無で、売上は倍近く変わってくる。今月は、売上の目標達成率が85%に到達し、来客数も増えている。
	変 わ ら な い	百貨店(マネージャー)	・インバウンド需要は堅調であるが、国内客については慎重な購買姿勢が続いている。母の日商戦やそれ以降を含め、身の回り品や消耗品は単価がダウンしている。気温要因も購入意欲の上昇にはつながっていない。食品も原価上昇などの影響か、消費者にとっての体感価格が上がり、販売量が減少している。
		スーパー(経理担当)	・野菜の相場安で、売上への寄与がなくなっている。気温を含む天候の不順により、売上は伸び悩んでいる。
		一般レストラン(企画)	・客単価は依然として高水準を維持している。前年比で90円の上昇となったことも、売上が前年を上回った大きな要因となっている。ただし、今月の天候不良も影響して、ここ数か月では来客数の前年比が最も小さくなるなど、決して楽観はできない。
		タクシー運転手	・気候が良くなって繁華街や行楽地の人出が多くなり、客の乗車機会は増えたものの、営業収入の増加にはつながっていない。
	や や 悪 く な っ て い る	百貨店(売場主任)	・今月は売上目標を下回る見込みである。天候不順の影響もあり、アパレルやシーズン雑貨の動きが特に厳しい。さらに、ファッションのカジュアル化の加速により、一部の商材では単価のダウンにつながっている。インバウンドの需要は依然として好調であるものの、国内客は買い控えており、購買単価の低下が目立つ。
		百貨店(営業担当)	・春先から気温が上がったことで、ファッションの初夏物や夏物が、3～4月は好調な推移となった。それに伴い、5月は需要の先食いによる影響で、夏物ファッションの動きが鈍い。富裕層やインバウンドの動きは継続して良く、特選ブランド、時計、化粧品は好調であるが、中間層のファッション、食品の購入は伸び悩んでいる。
		百貨店(販促担当)	・今月は衣料品や雑貨が苦戦している。特に、ゴールデンウィーク明けの気温の低下が大きく影響した。後半は少し改善したものの、前年の水準には届いていない。インバウンドは伸びているが、都市部ほどの金額には至らず、押し上げ効果は限定的である。

家計動向関連	やや悪くなっている	百貨店（売場マネージャー）	・余り気温の上がらない気候であったとはいえ、Tシャツなどの夏物商材の動きが鈍い。また、母の日のギフトも不調に終わり、バッグなどの洋品雑貨が前年比で2けた以上のマイナスとなっている。特選洋品、インバウンドについては引き続き堅調であるが、ボリューム層やシニア層の購入率が下がっており、ますます2極化が進んでいる。
	悪くなっている	家電量販店（企画担当）	・天候が安定せず、気温の低い日が続いたため、なかなか消費に結び付かない。さらに、米朝首脳会談が中止となれば、何らかの影響が出てくる。
企業動向関連	なっている	広告代理店（企画担当）	・気温が高めで推移したこともあり、消費者によるイベント参加率や、夏物の購買意欲が高まっている。
	変わらない	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・今月は前半と後半で大きく異なる動きがあった。前半はゴールデンウィークで人も多く、天候に比較的恵まれたこともあって好調に推移した。その一方、ゴールデンウィーク明けから下旬にかけて、その反動もあってか、大きく売上が落ち込んでいる。
	なっている	食料品製造業（営業担当）	・ゴールデンウィークが明けてから、気温が上がらなかった影響か、得意先からの飲料水の注文がかなり減っている。
	悪くなっている	食料品製造業（経理担当）	・気候の寒暖の差が激しく、的を絞った販売ができないため、商品の動きも鈍い。

「世界情勢」関連のコメント（先行き判断）

家計動向関連	変わらない	百貨店（商品担当）	・米朝首脳会談やイスラエルの米国大使館移転問題など、米国大統領の行動次第で、為替や株式相場が不安定化する懸念が強い。景気の先行きは弱含みとなるほか、インバウンド需要も鈍化するため、起爆剤となる商材が出てこなければ厳しくなる。
		百貨店（販促担当）	・世界情勢、国内政治共に、不確定要素が多い。株価の推移に影響が出ると、不況感が高まるため、消費の冷え込みが懸念される。直近では大ヒット商品にも期待できないため、日々の売上を確保するために、様々な意味で、少し良い価値を感じてもらうことが必要となる。
		百貨店（営業企画）	・企業業績は良いものの、個人消費は回復していない。北朝鮮関連のリスクや米国の保護貿易主義など、世界経済の先行きが不安定である。
		百貨店（宣伝担当）	・国内消費の不振を、インバウンド売上で補う状況は変わらないと予想しているが、今後は世界情勢の変化による影響も出てくることから、楽観視はしていない。ただし、夏のボーナス増のニュースや、酷暑となる予想から、入店客の増加が期待できるため、取り込みに向けての対策を行っていく。
		スーパー（店長）	・可処分所得の減少による先行き不安や、メリハリ消費、インターネット通販や中古品の購入といった節約志向で、個人消費の増加は望めない。米国による自動車関連の輸入関税や北朝鮮政策などが、世界経済に及ぼす影響も大きい。
		コンビニ（広告担当）	・国内では、日用品の一部値上げやガソリン代の値上げなどもあるが、今後2～3か月では大きな変化はない。海外では、北朝鮮と米国の交渉が続いているが、地政学的リスクも一時的緊張感が薄れている。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・北朝鮮情勢の安定が期待外れとなることで、経済効果も薄れる。
	やや悪くなる	百貨店（マネージャー）	・米国と北朝鮮の問題などもあり、業界による差はあるが、決算発表はおおむね好調であった。今後も、国内の富裕層や訪日外国人にけん引される状況が続く。その一方、国内の中間層の消費は上向く材料に乏しい。節約志向によるものではなく、これが本来の姿として根付いており、回復が期待できる状況ではない。
		家電量販店（企画担当）	・世界情勢の不安定さから、消費の増加にはつながりそうにない。関西の百貨店に限っては、インバウンド需要によって活気付いているが、家電までは需要がなかなか回ってこない。
		乗用車販売店（経営者）	・国際的には、米朝首脳会議が無事に開催されるかに関心が集まっている。その一方、国内では国有地売却関連や獣医学部新設問題で国会が紛糾していて、景気対策にまで議論が及んでいない。しばらく国内外の問題は解決しないと予想されるため、景気は良くならない。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・これから2～3か月先は、米国と日本の貿易において、少し日本のマイナス面が大きくなるため、その影響が株価などに出てくる。
		観光型旅館（管理担当）	・北朝鮮と米国、中国、韓国が歩み寄る一方、日本が取り残されている感がある。米国との貿易問題が拡大する懸念もあり、景気の上昇にブレーキが掛かる気がする。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		年 16					17					18														
		月 5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
現状判断	近畿	42.4	40.0	45.9	46.1	45.5	47.1	51.7	53.6	50.3	49.7	48.7	48.4	50.4	51.7	52.2	51.2	51.8	53.3	55.2	56.2	52.4	50.7	50.1	50.1	47.5
	(全国)	42.0	41.3	44.1	46.2	46.3	48.3	50.5	50.7	49.4	48.8	47.9	48.5	49.1	50.0	49.9	50.0	51.1	52.0	54.1	53.9	49.9	48.6	48.9	49.0	47.1
先行き判断	近畿	46.5	40.8	47.4	49.0	49.6	48.6	50.4	49.9	49.8	50.3	49.0	49.7	51.2	51.6	49.7	50.6	49.6	55.6	51.7	49.9	53.4	51.0	52.3	52.1	50.8
	(全国)	45.8	40.6	47.1	48.8	49.4	49.9	50.8	50.4	49.2	50.2	48.5	49.5	50.0	50.5	50.5	51.2	51.1	54.5	53.4	52.7	52.4	51.4	49.6	50.1	49.2